

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1008	(H.24)No.	1008
-----------	------	-----------	------

事務事業名 広報活動費			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	広報対話室	上谷 章二	63-7402
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	1	協働のまちづくり
	施策	2	開かれた市政
	小施策	3	効果的な情報提供
重点施策コード	5-3.情報共有の推進		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	024001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	広報費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 広報費	広報活動費	

3. 事務事業の概要

事業内容	効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> ・広報なばりの編集・発行 ・ホームページの管理運営 ・報道機関への情報提供 ・放送メディアを通じての情報提供 ・市長のまちかどトークの受付、実施 ・市政への意見等の受付 ・出前トークの受付、取りまとめ ・パブリックコメントの取りまとめ ・施設見学会の実施等 	<p>広報及び広聴活動を通じて、行政情報の積極的な提供と説明責任を果たすことにより、市民との情報共有と市民の市政への参画が促進されるようガラス張りの市政運営を目指すことを目的とします。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・広報なばりの編集・発行(月4回) 4ページ 34回 8ページ 14回 発行部数 36,000部/回 発行単価 4ページ 8.98円/部 8ページ 16.34円/部 ・FM放送行政情報番組制作・放送業務委託(年間888回放送) 1,865千円 ・三重テレビ放送地域情報発信番組 1,313千円 本放送4回・再放送8回	[事業内容(事業量)・事業費] ・広報なばりの編集・発行(月4回) 4ページ 33回 8ページ 15回 発行部数 36,000部/回 発行単価 4ページ 9.50円/部 8ページ 17.16円/部 ・FM放送行政情報番組制作・放送業務委託(年間900回放送) 1,890千円 ・三重テレビ放送地域情報発信番組 1,050千円 本放送3回・再放送6回	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	30,630千円	31,359千円	31,600千円	31,600千円	31,600千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金	6,420	6,489	6,631	6,631	6,631	
地方債						
その他()	3,838	5,334	7,021	7,021	7,021	
一般財源	(0) 20,372	19,536	17,948	17,948	17,948	
人工数						
職員	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
臨時職員等	0.00人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	
概算人件費	(0千円) 21,900千円	23,260千円	23,260千円	23,260千円	23,260千円	
+ 総事業費	(0千円) 52,530千円	54,619千円	54,860千円	54,860千円	54,860千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	市長のまちかどトーク、出前トークの年間実施回数	-	-	-	-	45
	実績		34	24	31	69	
活動指標	目標	市民の声の受付件数(延べ値)	-	-	-	-	1,855
	実績		365	753	1,162	1,512	
活動指標	目標	市ホームページへの1日平均アクセス件数	-	-	-	-	1,630
	実績		1,599	1,594	1,967	2,046	
活動指標	目標	報道機関への情報提供件数(延べ値)	-	-	-	-	3,925
	実績		755	1,459	2,141	3,063	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
広報・広聴業務のさらなる推進	個別対話(市長への手紙、市政への意見)や集団対話(市長のまちかどトーク、出前トーク、施設見学会)の充実により、市民の声が行政に届く体制を更に推進します。 また、指標についても、引き続き、事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
地域活動団体やボランティア団体からの広報紙への掲載希望が、多くある。	・市広報は月1回で十分である。配布費削減。(市民) ・先進的な取組の効果検証を検討。(審査委員) ・市民の声が取り上げられる指標の取りかたについて検討された。 (審査委員) ・各媒体の費用対効果の検証が必要。(審査委員)

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・広報内容の評価方法の充実 ・効果的な報道提供 ・ホームページの充実
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	有料広告収入の増加
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・広報なばりとホームページやFM放送等との連携 ・市政モニター制度の検討 ・市民広報特派員制度の充実 ・ホームページやFM放送等新メディアの充実

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
市民広報特派員や地域づくり組織と協働で広報紙づくりに取組み、開かれた広報紙づくりを継続している。また、平成24年全国広報コンクールで3席を受賞。(平成23年10-3号)

特記事項
・市民広報特派員との協働で、企画、取材、編集を行い広報記事を作成(8-1号、9-3号) ・地域づくり組織との協働で、企画、編集を行い広報記事を作成(10-2号、3-3号)